

今月の星空



川口市立科学館
Kawaguchi Science Museum

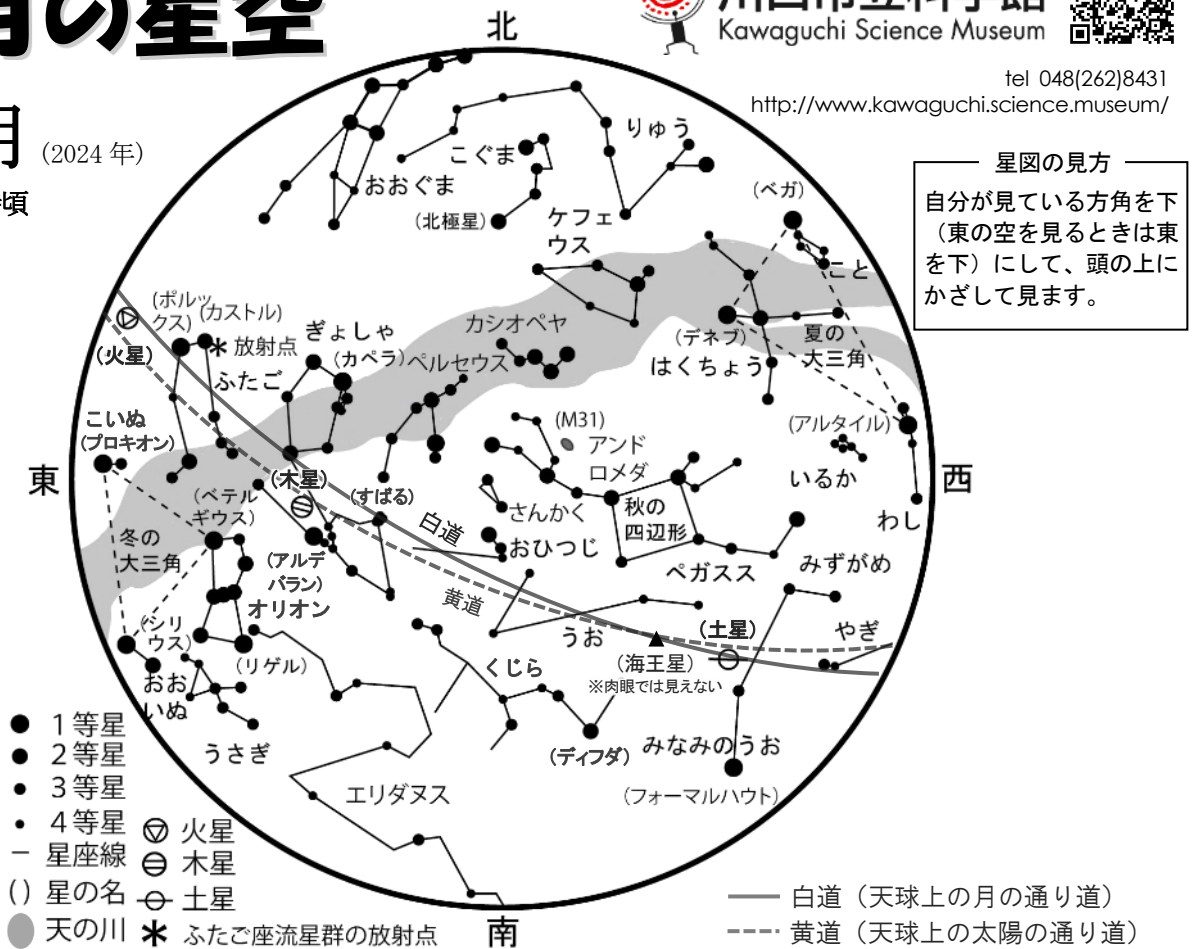


tel 048(262)8431

http://www.kawaguchi.science.museum/

12月 (2024年)

中旬 20 時頃



月 齢 ● 新月 1 日、31 日、● 上弦 9 日、○ 満月 15 日、● 下弦 23 日

惑星情報

水星 日の出前 南東(さそり→へびつかい座 0 等)※16 日~1 月 2 日 (日の出 30 分前の高度が 10 度以上)

金星 日の入後 南西(いて→やぎ座 -4 等) 火星 真夜中 東→南東(かに座 -1 等)

木星 夜のはじめ頃 東(おうし座 -3 等) 土星 夜のはじめ頃 南西(みずがめ座 1 等)

★冬の星座と木星の登場

1 年で最も日の入りが早い時期になりました。空が薄暗くなる頃、南西の方角に「宵の明星」こと金星が -4 等で輝き、どの星よりも先に見つけられます。金星にほど近い、西に沈む夏の大三角を見送ると、東の空には木星や冬の星座が昇っています。金星にも引けを取らない -3 等で輝く木星は「夜半の明星」とも呼ばれます。その周りにある冬の星座の 1 等星——おうし座のアルデバラン、ぎょしゃ座のカペラ、オリオン座のベテルギウスらと見比べて、その明るさを確かめてみましょう。

★今年を締めくくる三大流星群~ふたご座流星群~

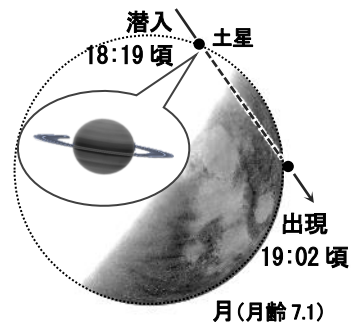
ふたご座流星群が 14 日 10 時頃、極大を迎えます。一番の見頃は、極大に近い 13 日の夜、次いで 14 日の夜です。夏のペルセウス座流星群などに比べて、夜の早い時間帯から明け方まで流れ星が出現し、ほぼ一晩中観察ができることが特徴です。13 日は 21 時頃には流星数が増え始め、放射点が高くなる夜中、そして、極大に近づく明け方にかけて、より数が増える予想です。ただし、13 日も 14 日もほぼ一晩中明るい月が空を照らします。月明かりを目に入れないようにして、観察してみましょう。

★8 日、条件の良い「土星食」を見よう！

8 日は月が土星を隠す土星食が起こります。日本の広範囲かつ夜間に起こる土星食は約 22 年ぶりのこと。川口市での土星食の経過は右図のとおりです。1 等の明るさを持つ土星でも、非常に明るい月が近くにある場合は見づらいため、双眼鏡や望遠鏡を使うと観察しやすいでしょう。

また、約 1 か月かけて地球を回る月は、「白道」(天球上の月の見かけの通り道、星図参照)を西から東へ移動(約 1 か月で天球を一周)しながら、付近の天体を隠すことがあります。今月は、9 日に海王星食、14 日にプレアデス星団(すばる)食、25 日にスピカ食と、立て続けに主要な星食が起こります。

※科学館では「土星食」当日にホームページでのライブ配信を予定しています。



ステラナビゲータ 11 を元に作成
図 12 月 8 日土星食の
潜入と出現 (川口市)